坂口恭平 熊本0円ハウス

GⅢ-Vol.67

期日：2009年11月7日（土）～12月13日（日）

11月3日（火･祝）～6日（金）はスタッフ在廊時のみ制作過程を見学可能。火曜日休館（11月3日は開館、翌4日は休館）

場所：熊本市現代美術館・ギャラリーⅢ(GⅢ)　時間：10:00－20:00　入場無料

【関連イベント】

11月7日（土）
14:00－15:30
坂口恭平自身が作品について、その思考の軌跡について語ります。
アーティスト・トーク　場所：ホームギャラリー

坂口恭平とともに0円ハウスを建設するスタッフ（ボランティア）を募集します

「熊本0円ハウス」建設ワークショップ
期間：10月31日（土）～11月6日（金）
対象：県内の芸術制作を目指す学生および一般

※詳しくは096-278-7500（熊本市現代美術館）までお問い合わせください。

材料費０円、１週間でたてる「家」！？

隅田川のブルーシートハウスに住む、「都市の達人」ホームレス、鈴木さんに密着し、その驚くべき０円生活の実態を、写真、小説、ドローイング、模型などのかたちであらわした、熊本市出身の建築探険家、坂口恭平。
本展は、熊本で集めた０円の材料で、１週間で美術館内に「０円ハウス」を建設してみる、という展覧会であり、実験的なワークショップである。
世界を舞台にしたフィールドワークから得た、都市の幸と人間の知恵の豊かさ。それらが、坂口恭平の中で結晶化されたとき、その小さな空間は、最も新しく、最も懐かしい私たちの「家」となるだろう。

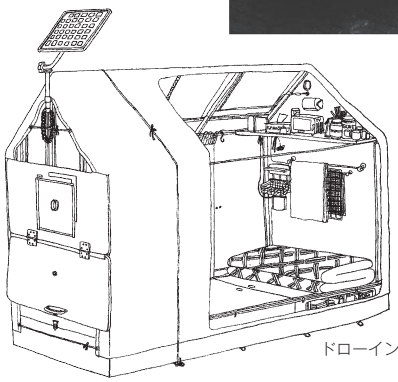
（熊本市現代美術館学芸員・坂本顕子）

０円ハウス
隅田川のブルーシートハウスで、経験と知恵に裏打ちされた自給自足の豊かな０円生活を営む都市の達人・鈴木さんとの出会いをきっかけとして、都市の幸で暮らす人々の姿を追った坂口恭平の代表的なシリーズ。

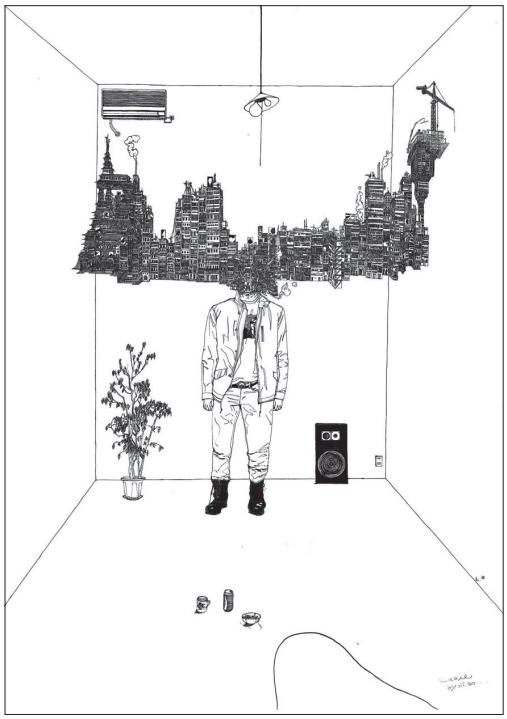
隅田川の０円ハウス

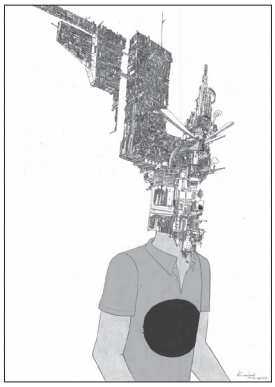
料亭風の家

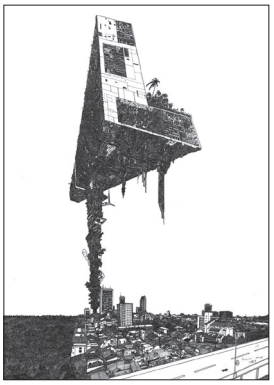
走る家



ドローイング「隅田川の家」







Dig-Ital
極細のペンで描かれたドローイング。熊本では、キャンバスに極細マッキー30本を使って描かれた138×496cmの大作を展示する。

【作家略歴】
坂口恭平　Sakaguchi Kyohei
建築探険家　1978年、熊本市生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。在学中から路上生活者の家に興味を持ち、「建築物」としての視点から調査・研究を始める。
主な展覧会に、「NEXT: Kyohei Sakaguchi: Zero Yen House」(Vancouver art gallery、2006年)、「World Social Forum Nairobi 2007」での作品展とワークショップ、「シェルター× サバイバルーファンタスティックに生き抜くためのもうひとつの家」（広島市現代美術館、2008年）などがある。
著書に、『０円ハウス』（リトルモア、2004年）、『隅田川のエジソン』（青山出版社、2008年）、『TOKYO ０円ハウス０円生活』（大和書房、2008年）、『TOKYO 一坪遺産』（春秋社、2009年）

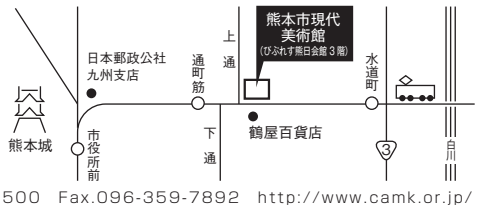
『隅田川のエジソン』（青山出版社、2008年）

『TOKYO 一坪遺産』（春秋社、2009年）

過去の活動から最新の日常まで情報満載。
坂口恭平ホームページ
http://www.0yenhouse.com/

熊本市現代美術館 Gallery Ⅲ [GⅢ]

Contemporary Art Museum Kumamoto



美術館入口（びぷれす熊日会館３階）までは、通町筋電停又はバス停から徒歩１分です。電車通り側歩道から、エスカレーター又はエレベーターをご利用ください。「びぷれす熊日会館」の駐車場は、数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

〒860-0845　熊本市上通町２番３号　Tel.096-278-7500　Fax.096-359-7892　http://www.camk.or.jp/

Design by YOSHIMASA ISHII